



こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第367号

2018年6月4日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

米寿荘（米本団地）の代替施設で市と交渉

市内には高齢福祉施設が6か所あり、米本団地の米寿荘では健康づくりとコミュニケーションの場として、踊り・カラオケ・民謡・麻雀など活発に行なわれています。また、月に1度の誕生会も開いて、互いの健康にも気遣う交流の場でもあります。

第二学童保育所が老朽化のために取り壊すことになり、間借りしている米寿荘も廃止すると市から説明があり、団地の人たちは高齢者の活動場所を探さなければならなくなりました。

代替案として提案された集会所ではスペースも狭く、米寿会や地域の人たちは、これまでの活動ができなくなってしまうとの不安から、市と交渉を行ってきました。

URから、「Eラウンジ」を開放するとの回答

第二学童保育所は、米本南小学校に移設することは決まっていたのですが、米寿荘の代替施設の対応が遅れていました。この間、米寿会の代表や自治会として、市長、担当課と話し合いを進めてきました。

そして最終的に、UR都市機構が日常的には貸し出しをしていないEラウンジを開放し、協力するという話し合いがまとまりました。

いろいろと紆余曲折はありましたが、半額の使用料で利用することができ、今までとほぼ同じように活動ができることになりました。

ハ千代市はUR都市機構と「高齢者、子育て世帯、外国人等のニーズに対応したまちづくりに関すること」などを含んだ協定を結んでいます。今回のような取り組が、この協定を生かすための具体的な一歩になるものだと思います。

今後とも、高齢者が安心できる活動拠点の整備を

今回の米寿荘の件は、代替施設を確保しないまま、施設の廃止が決められことが大きな問題です。市は政府が推し進める「公共施設等総合管理計画」を作成し、公共施設の再編・適正化という名のもとに縮小・廃止の方向を強く推し進めようとしています。

しかし、市がマネジメント方針で「今の超高齢化社会に向け、単なる集会所施設ではなく、介護予防目的とした地域の拠点が必要」と述べているように高齢者が安全・安心に集い、充足感をもたらす公共施設が必要です。



日本共産党は、持続可能な地域社会を見据えた公共施設の再編・運営の展望が切り開かれる施策を求めて行きます。